

令和 6 年 11 月の解説（府県天気予報）

【11 月の天候状況】

上旬は、北日本では天気は数日の周期で変わったが、期間後半には一時的に西高東低の気圧配置になったため、日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、太平洋側では晴れの日が多かった。北日本日本海側の旬降水量は多く旬間日照時間は少なかった一方、北日本太平洋側の旬間日照時間は多かった。北海道では平地でも積雪となった所があった。東・西日本では天気は数日の周期で変わったが、期間ははじめには、台風第 21 号から変わった低気圧と前線の影響を受けてこの時期としては記録的な大雨となった所もあった。このため、東・西日本太平洋側と西日本日本海側では、旬降水量がかなり多かった。西日本日本海側では旬降水量平年比が 536% となり、1946 年の統計開始以降、11 月上旬として 1 位の多雨となった。寒気の影響が弱かった東日本日本海側では旬間日照期間が多かった。台風第 21 号と第 22 号や湿った空気の影響を受けた沖縄・奄美では、旬降水量が多く旬間日照時間が少なかった。期間末には高気圧の南縁を回る湿った空気などの影響を受けて記録的な大雨となった所もあった。偏西風が平年より北偏して流れやすく寒気の影響が弱かったため、旬平均気温は沖縄・奄美でかなり高く、東・西日本で高かった。沖縄・奄美では、旬平均気温平年差が+1.9℃となり 1946 年の統計開始以降、11 月上旬として 1 位タイの高温となった。期間後半に寒気の影響を受けた北日本では平年並となった。

中旬は、北・東・西日本では天気は数日の周期で変わったが、北日本と東・西日本日本海側は高気圧に覆われやすかった一方、東日本太平洋側は高気圧の南側に位置し、気圧の谷の影響を受けやすかった。このため、旬降水量は東・西日本日本海側でかなり少なく、北日本日本海側と北・西日本太平洋側で少なかった。また、旬間日照時間は北日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、東・西日本日本海側で多かった一方、東日本太平洋側では少なかった。期間末には、低気圧通過後に一時的に西高東低の気圧配置となって寒気が流入し、北日本と東日本日本海側では初雪となった所もあった。沖縄・奄美は、台風第 25 号や湿った空気の影響を受けやすかったため、旬降水量がかなり多く、旬間日照時間が少なかった。寒気の南下が弱く、全国的に平年に比べ暖かい空気に覆われた。加えて、沖縄・奄美には暖かく湿った空気が流れ込みやすかった。このため、旬平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、期間末に寒気の影響を受けた北日本でも高かった。特に、沖縄・奄美では、旬平均気温平年差が+2.6℃となり 1946 年の統計開始以降、11 月中旬として 1 位の高温となった。

下旬は、天気は数日の周期で変わり、期間のはじめと終わりは東日本日本海側を中心に日本海を進む低気圧や前線の影響を受けた。期間の中頃は北日本を中心に高気圧に覆われやすかったが、本州南岸から三陸沖を進む低気圧の影響を受けた日もあった。沖縄・奄美は大陸から張り出す高気圧に覆われることが多かった。このため、旬降水量は東日本日本海側でかなり多く、北・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側で多かった一方、沖縄・奄美では少なかった。旬間日照時間は北日本日本海側と北・東日本太平洋側で多かった一方、東日本日本海側で少なかった。期間の後半は沖縄・奄美を中心に寒気の影響を受けた一方、北日本を中心に南から暖かい空気が流れ込んだ。このため、旬平均気温は北日本で高かった一方、沖縄・奄美で低かった。

【11月の検証結果】

17時発表の天気予報による「降水の有無」の全国平均の適中率は、明日予報は例年値（注）より1ポイント高い86%で、明後日予報は例年値より2ポイント高い84%となった。地方別の適中率では明日予報は北海道、東海、近畿、中国、沖縄地方では例年値を下回ったが、その他の地方では例年値を上回った。また明後日予報は東海、近畿、中国地方では例年値を下回ったが、その他の地方では例年値を上回った。

同じく17時発表の天気予報による明日の最高気温の予報誤差は、全国平均で例年値より0.4℃小さい1.1℃で、全ての地方で例年値より小さくなった。また、最低気温の予報誤差は、全国平均で例年値より0.3℃小さい1.2℃で、全ての地方で例年値より小さくなった。

（注）例年値は気象庁HP（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【1月の天気予報の利用にあたって】

1月は、日本海側の地方では、冬型の気圧配置となって風が強まり、雪や雨の日が多くなります。日頃から大雪や暴風雪に備えて下さい。また、太平洋側の地方では晴れる日が多くなり、空気が乾燥して火災が起きやすくなる一方で、日本の南海上を低気圧が通過する場合などには雪が降り、少しの積雪でも交通機関の運行などに大きく影響することがあります。

天気予報とともに、大雪や暴風雪についての最新の警報や注意報、早期注意情報、気象情報、また乾燥注意報の発表状況に留意して下さい。